

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立豊新小

学校

児童数

77

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.58	18.71	27.29	43.13	43.16	9.72	141.60	17.17	49.94
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	18.19	17.23	32.91	40.84	35.49	9.93	137.23	13.51	52.31
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校児童の体力・運動能力の結果から、体力合計点は全国平均および大阪市平均を下回る結果となった。体力合計点は、男子49.94点、女子52.31点であり、全国平均（男子53.02点、女子53.97点）および大阪市平均（男子51.54点、女子52.58点）と比較して低い水準にある。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目においては、男女ともに肯定的に回答した児童の割合が、全国平均および大阪市平均を下回った。運動やスポーツに対する意識の低さが見られ、体力合計点の結果とも関連していると考えられる。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合についても、全国平均および大阪市平均を大きく下回る結果となった。日常的に体を動かす時間が十分に確保されていない児童が多いことが、本校の課題として明らかになった。

これらの結果から、本校では体力面だけでなく、運動に対する意識や運動習慣そのものに課題があり、学校生活全体を通して、運動に親しむ機会を意図的に増やしていく必要がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで本校では、体育科の授業における指導法の工夫に加え、学校行事として「なわとび週間」や「かけ足週間」を実施し、児童が積極的に体を動かす機会を設けてきた。学校全体で取り組むことで、児童が意欲的に活動する姿が多く見られ、運動に取り組むきっかけづくりという点では一定の成果があったと考えられる。しかしながら、今年度の調査結果では、体力合計点や運動に対する肯定的意識、総運動時間のいずれにおいても全国・大阪市平均を下回っており、これらの取組が十分に体力向上や運動習慣の定着につながっていないとは言い切れない状況である。

結果を踏まえ、本校児童の課題となっている体力要素を明確にし、重点的に強化する取り組みを進めていく必要がある。特に、体育の学習を通して柔軟性や敏捷性を高める指導法の工夫を行い、運動が苦手な児童も達成感を得られる授業づくりの研究を実施する。

今後も、なわとび週間、かけ足週間といった体育の行事や取り組みを継続するとともに、夢授業等の体験活動を通して、運動やスポーツに対する興味・関心・親しみを高めていく。また、家庭・地域と連携し、児童が自主的に進んで運動に取り組むことができる環境づくりの促進が重要である。